

2023年2月8日

三井化学株式会社

## 三井化学、不織布事業に関する共同新設分割を旭化成と実施へ

三井化学株式会社（所在：東京都港区、代表取締役社長：橋本 修、以下「三井化学」）は、この度、旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：工藤 幸四郎、以下「旭化成」）との共同新設分割により、2023年10月2日（予定）を効力発生日として新会社を設立し、両社が日本国内、およびタイにおいて営む不織布関連製品の開発・製造・販売に関する事業を承継させること等を内容とする事業統合契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本共同新設分割による新会社の設立は、日本およびタイの競争法その他の法令等に基づき必要なクリアランス・許認可等の取得が完了することが前提となります。

### 1. 統合会社設立の背景および目的

三井化学は、新たな長期経営計画「VISION 2030」においてライフ&ヘルスケアソリューション分野の中で、不織布事業を成長事業の一つと位置付けています。三井化学は、1971年に不織布の製造、販売を開始して以来、川上の原料から一貫で開発、製造できる強みを生かして衛生材料分野や産業材料向けに油吸収材、自動車内装材、土木資材、フィルター向けなど特長的な製品を開発し販売を行っています。また、2001年にはタイにも製造販売拠点を設け、積極的に海外への展開を進めてまいりました。

一方で、近年アジアでの競争メーカーによる増強が続き、また RCEP 発効に伴う関税撤廃の影響を受けて、不織布市場の益々の競争激化が想定されます。三井化学と旭化成は、競争力を保持し、継続的に事業を拡大していくことを最重要課題としていること、また、環境対応や安定供給といった社会的な要請が高まっていることから、これまで両社共同で事業強化の方策、可能性について議論を重ねてまいりました。その結果、両社の事業を統合することで、持続的に成長を見込める事業へ変革することが最善の策であるとの結論に至りました。

今後は本事業統合を通じて、事業基盤を強化し、両社の技術やノウハウを融合させ、シナジーの最大化を図ることで、グローバルで存在感のある不織布メーカーとして、事業の更なる成長と持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

旭化成は 1973 年にスパンボンド不織布関連製品の開発・製造・販売を開始し、現在は日本国内外において事業を営んでいます。繊維事業の長い歴史のなかで培った技術を活かして、独自性のある商品を開発し、衛生材料分野から産業資材、生活資材分野に至るまでの幅広い用途でお客様にご使用いただいております。また、2012 年にはタイにも製造・販売拠点を設け、積極的に海外への展開を進めてまいりました。

### 2. 本共同新設分割による統合会社設立スキーム

三井化学と旭化成の不織布関連事業の各機能の一体化に向けて、販売、生産調達、研究開発でのシナジー最大化とガバナンスの体制強化を図るために、下記のように統合会社を設立する予定です。

① 三井化学の不織布関連事業からポリオレフィン多分岐繊維 SWP<sup>®</sup>を除く事業と旭化成のスパンボンド事業部およびカート

リッジフィルター事業を統合する。

- ② 国内生産拠点は、三井化学 100%子会社であるサンレックス工業（三重県）、三井化学名古屋工場（愛知県）とし、旭化成の守山工場（滋賀県）へは統合会社から製造委託を実施する。海外生産拠点の Mitsui Hygiene Materials (Thailand)と Asahi Kasei Spunbond (Thailand) については統合会社の子会社として生産販売を継続する。
- ③ 旭化成守山工場のスパンボンド工場の製造事業は、時間をかけて吸収分割により、統合会社に統合する予定です。

### 3. 統合会社の概要

|       |   |
|-------|---|
| 会社名   | エム・エーライフマテリアルズ株式会社 (Mitsui Chemicals Asahi Life Materials Co., Ltd.)  |
| 本社所在地 | 東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号  |
| 設立年月日 | 2023 年 10 月 2 日   |
| 資本金   | 5 億円  |
| 出資比率  | 三井化学：60.62%、旭化成：39.38%  |
| 代表者   | 未定  |
| 事業内容  | スパンボンド・マルチブローン不織布、通気性フィルム、形状保持繊維、フィルター製品  |
| 事業領域  | 衛生材料：おむつ、生理用品、マスク、医療、その他<br>産業材料：産業（自動車等）、生活、農業、土木、その他  |
| 製品名   | PP スパンボンド（シンテックス <sup>®</sup> 、エアリア <sup>®</sup> 、タフネル <sup>®</sup> 、 <u>エルタス<sup>®</sup></u> ）、<br>PET スパンボンド（シンテックス <sup>®</sup> 、 <u>エルタス<sup>®</sup></u> 、 <u>プレシゼ<sup>®</sup></u> 、 <u>スマッシュ<sup>®</sup></u> 、 <u>パルシャット<sup>®</sup></u> ）、<br><u>ナイロンスパンボンド（エルタス<sup>®</sup>）</u> 、 <u>PLA スパンボンド<sup>®</sup></u> 、伸縮樹脂スパンボンド（シンテックス <sup>®</sup> ）、<br>PP マルチブローン（シンテックス <sup>®</sup> 、シンテックス <sup>®</sup> nano）、通気性フィルム（エスポール <sup>®</sup> ）、<br>形状保持繊維（テクノート <sup>®</sup> ）、フィルター（ <u>ユーテック<sup>®</sup></u> ）<br>不織布を使用したフィルターシステム事業を含み、ポリオレフィン多分岐繊維 SWP <sup>®</sup> は承継対象外。<br>* <u>下線</u> が旭化成より承継される製品 |
| 売上    | 483 億円（2022 年 3 月期）   |
| 従業員数  | 約 700 名（連結）   |

### 4. 今後の見通し

本共同新設分割による新設会社は当社の連結子会社となります。連結業績への影響は軽微です。なお、本共同新設分割会社の設立は 2023 年 10 月 2 日を予定しております。本共同新設分割により、日本、アジア市場でのプレゼンスの維持拡大に努めてまいります。

## 【参考】

### ■会社概要

|       |                              |                          |
|-------|------------------------------|--------------------------|
| 名称    | 三井化学株式会社                     | 旭化成株式会社                  |
| 本社所在地 | 東京都港区東新橋一丁目5番2号<br>汐留シティセンター | 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号        |
| 代表者氏名 | 代表取締役社長 橋本 修                 | 代表取締役社長 工藤 幸四郎           |
| 設立    | 1955年7月1日                    | 1931年5月21日               |
| 資本金   | 125,414百万円(2022年3月31日現在)     | 103,389百万円(2022年3月31日現在) |
| 事業内容  | 総合化学事業                       | 総合化学事業                   |
| 従業員数  | 連結 18,780名(2022年3月末)         | 連結 46,751名(2022年3月末)     |

### ■用語説明

#### ・スパンボンド不織布

おむつ、マスクといった衛生材料向け、自動車内装材や建築資材、フィルターといった産業資材向け、カイロ包材や飲料フィルター、日用雑貨といった生活資材向けと幅広く使用されています。

#### ・メルトブローン不織布

極細繊維が使用可能なことからマスクといった衛生材料向け、防護服、手術着といった医療資材用途、工業用の高性能フィルターなどに使用されています。

---

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

(TEL : 03-6253-2100、お問合せフォーム [https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc\\_pr\\_csr\\_ja](https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja) )